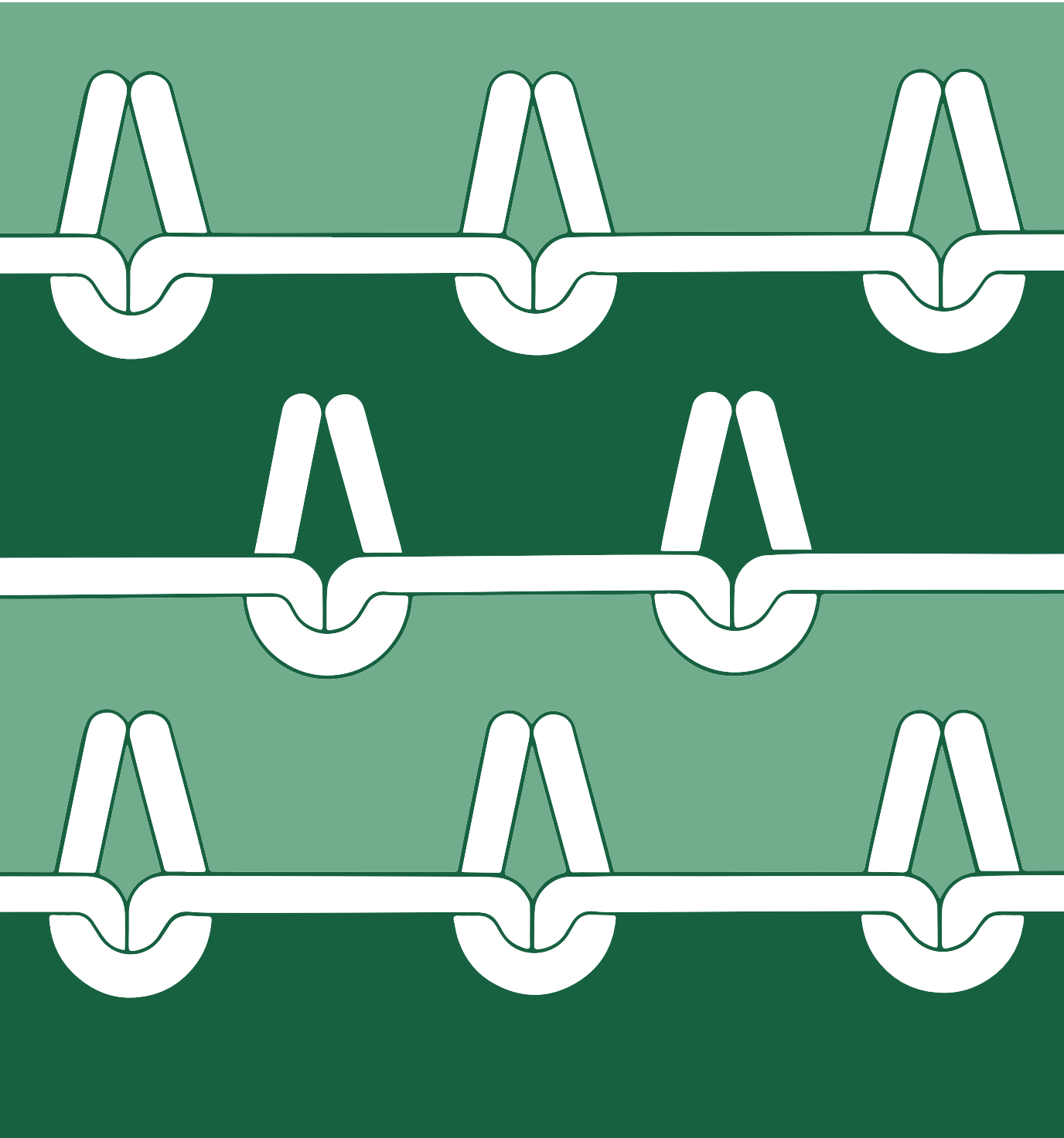


ベビースクイ

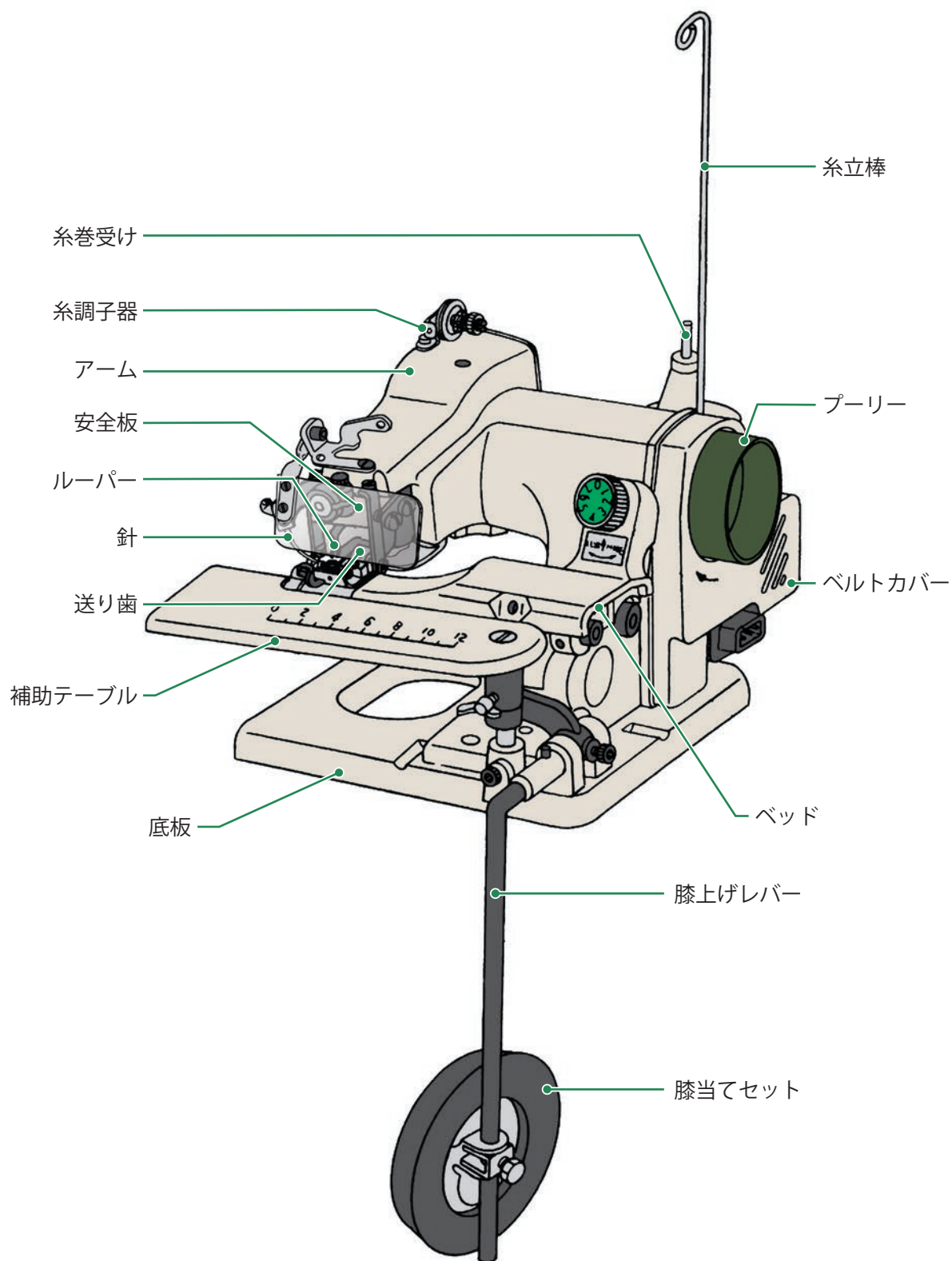
by baby lock

BL-500N

ご使用のてびき



各部の名称



はじめに

このたびは、ベビースクイをお買い上げいただきましてありがとうございます。
このたびき書をよくお読みになり、正しく、末永くご愛用ください。

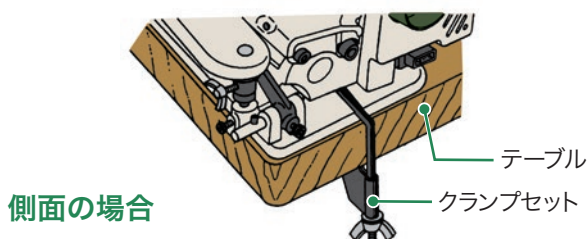
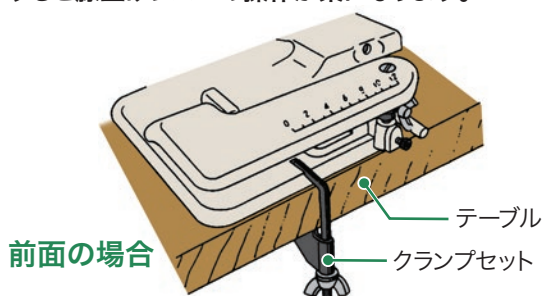
目次

- ① クランプ・膝上げレバー・コントローラーのセット
 - 1-1 クランプのセット
 - 1-2 膝上げレバーのセット
 - 1-3 コントローラーのセット
- ② 糸の通し方
 - 2-1 糸立てのセット
 - 2-2 糸の通し方
- ③ 縫い始め
- ④ 糸調子の調節
- ⑤ すくいダイヤルの調節
- ⑥ 送り目長さの調節
- ⑦ 縫い終りと糸切り
 - 7-1 縫い終り
 - 7-2 糸切り
- ⑧ 針の取り付け
- ⑨ 補助テーブルの移動
- ⑩ 糸のほどきかた
- ⑪ 注油のしかた
- ⑫ 困ったときは

① クランプ・膝上げレバー・コントローラーのセット

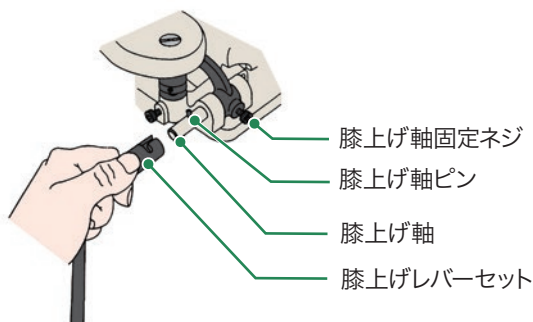
1-1 クランプのセット

- 付属のクランプを使用してミシンをテーブルに固定すると膝上げレバーの操作が楽になります。



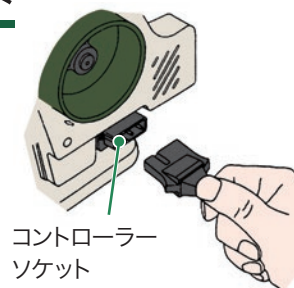
1-2 膝上げレバーのセット

- 膝上げスリーブを膝上げ軸にしっかりと差し込んでください。



1-3 コントローラーのセット

- ソケットにはコントローラープラグをしっかりと差し込んでください。
- ペダルを踏むとプーリーは向こう側に回ります。



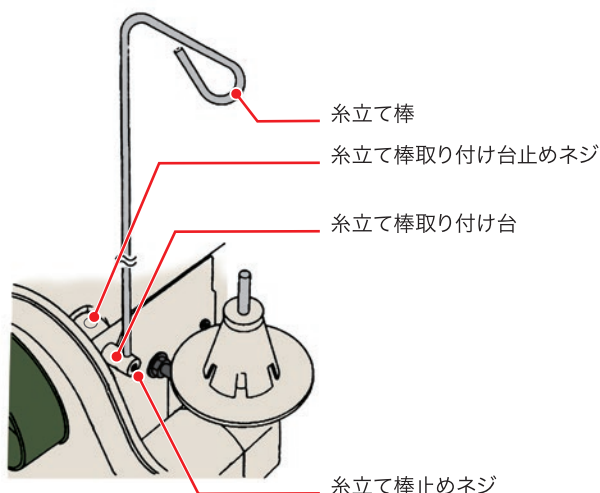
2 糸の通し方

2-1 糸立てのセット

- 糸立て棒を糸立て棒取り付け台に取り付ける。
- 糸立て棒止めネジをレンチ(小)を使用してしめる。

注意

- 通常糸は、スパン糸90番を使用してください。

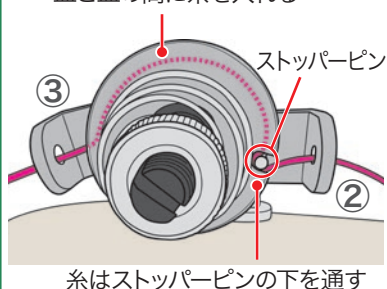


2-2 糸の通しかた

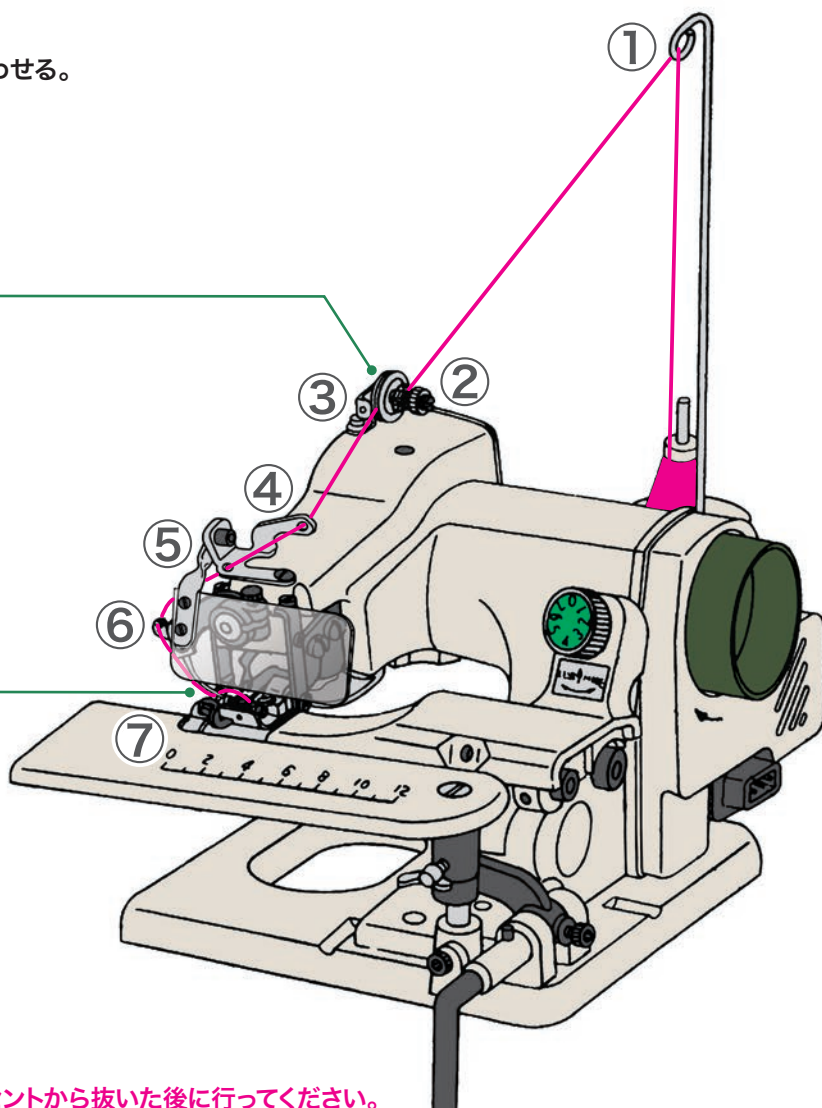
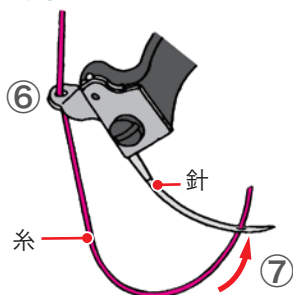
- プーリーを回して、針を最左点に合わせる。
- 糸は図の順番に通してください。

●糸調子器糸案内

皿と皿の間に糸を入れる



●針糸の通しかた



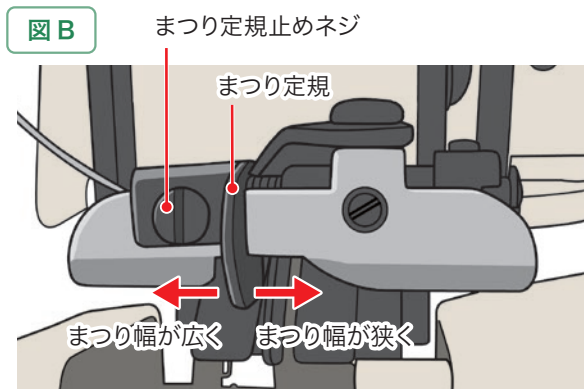
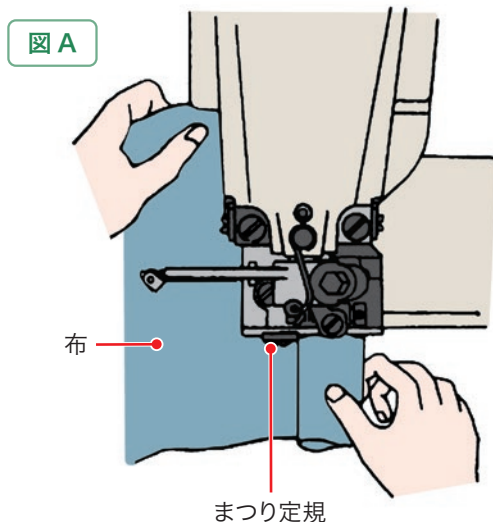
注意



- 糸通しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

3 縫い始め

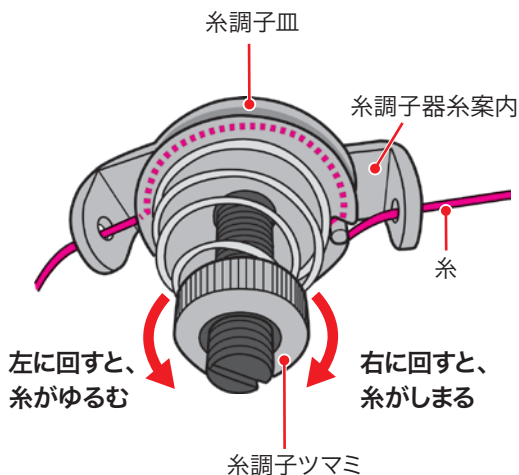
- 布は、針の位置より奥へ入れて縫いはじめてください。
- この時、まつり定規の右側面に布の折り返しをそわせて、布を送り込んでください（図 A）。
- まつり定規を左右に移動（図 B）することによって、まつり幅の調節ができます。



- まつり定規止めネジをゆるめ、まつり定規を左に移動すると、まつり幅が広がります。
- まつり定規止めネジをゆるめ、まつり定規を右に移動すると、まつり幅が狭くなります。

4 糸調子の調節

- 糸調子は布に合わせて締まり過ぎず、ゆるみ過ぎないように調節してください。
- 布の送り量によっても糸締まりが変わりますから、糸調子を調節してください。
- 糸調子によって、トラブルが発生しますので素材に合わせた糸調節を必ず行ってください。



縫い目がきつい

糸調子ツマミを左に回して糸調子を弱くする。



標準の縫い目

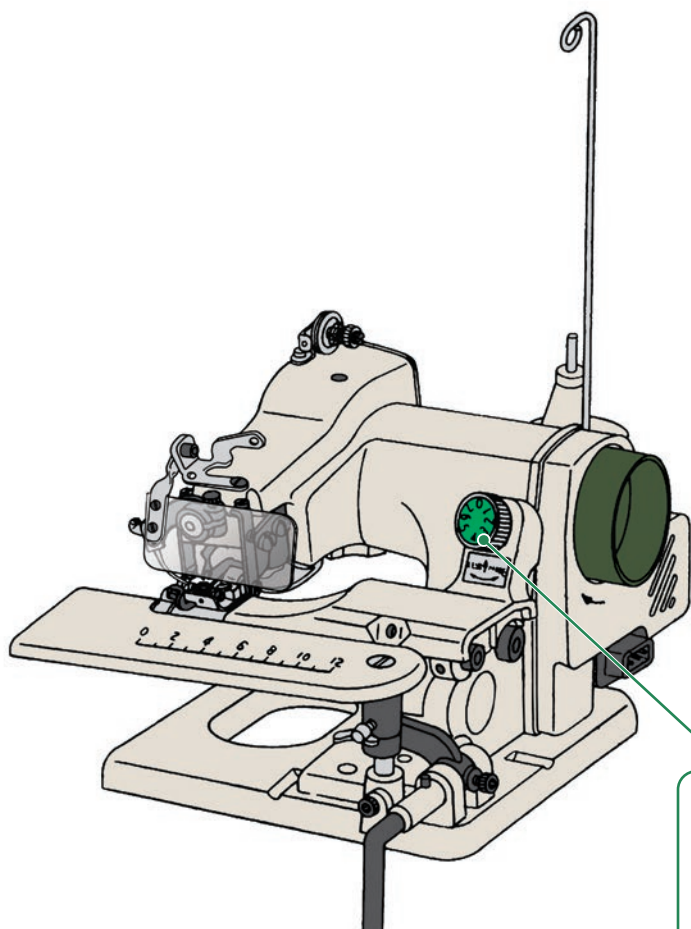


縫い目がゆるい

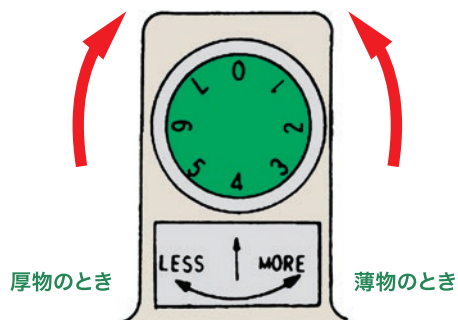
糸調子ツマミを右に回して糸調子を強くする。

5 すくいダイヤルの調節

- すくい縫いミシンの針のすくい深さの調節は非常に重要ですから、布に合わせて十分に調節してください。



●すくいダイヤルの調節



- 中厚地の場合は普通「4」の位置(素材により変わります)で縫えますが、すくいを浅くする場合はダイヤルを右へ、深くする場合はダイヤルを左に回してください。
※厚地の場合はすくいを浅く「ダイヤル4〜1」、薄地の場合はすくいを深く「ダイヤル5〜7」に調節してください。

6 送り目長さの調節

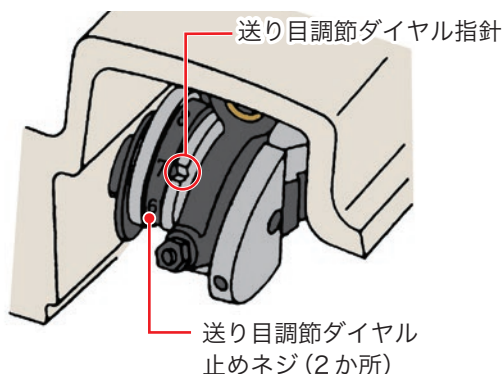
- このまつり縫いミシンは送り目の長さ6mmに設定されており、通常送り目の長さを変える必要はほとんどありませんが下図の方法で送り目長さの調節ができます。

- 《1》本体側面カバーを取り外します。
- 《2》送り目調節ダイヤルの止めネジ(2か所)をレンチ(小)を使用してゆるめます。
- 《3》送り目調節ダイヤル指針に送り目調節ダイヤルの数字(mm)を合わせて、止めネジをしめます。

注意



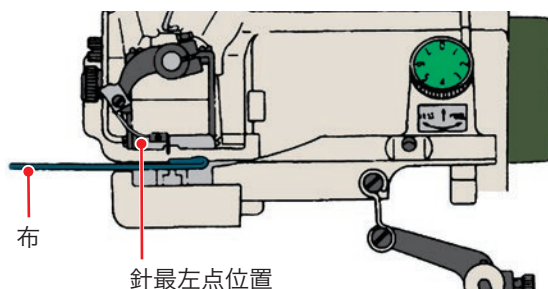
●側面カバーの取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



7 縫い終りと糸切り

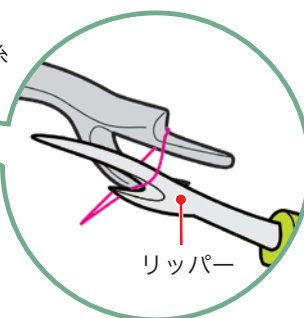
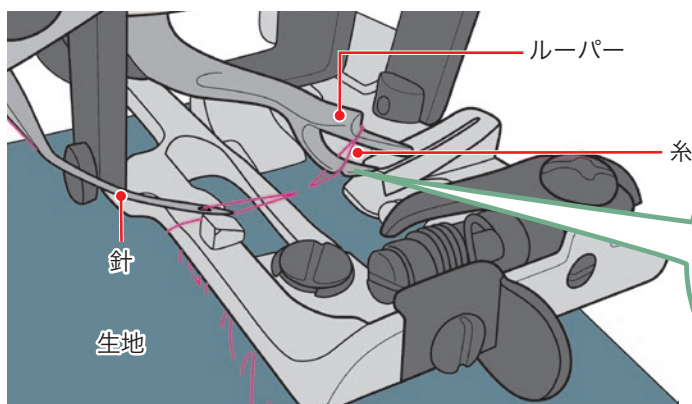
7-1 縫い終り

- 縫い終わりは必ずプーリーを回して、針を最左点位置に合わせてください。



7-2 糸切り

- 糸切りの次の順序で操作してください。
- 《1》プーリーを回して、針を最左点位置に合わせる。
- 《2》押えを下げる。
- 《3》布ごと、向こう側(後ろ側)へ引っ張る。



薄地などのほつれやすい生地は、図のようにリッパーなどでルーパーの二股にかかっている糸を切ってください。

8 針の取り付け

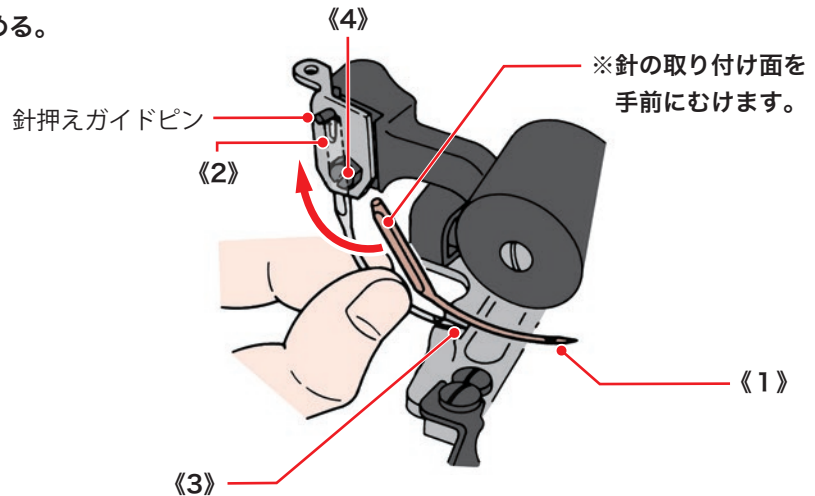
- 針は図の番号順に取り付けてください。
- プーリーを回して針を最左点位置に合わせてください。

《1》針ガイド溝にそって針を差し込む。

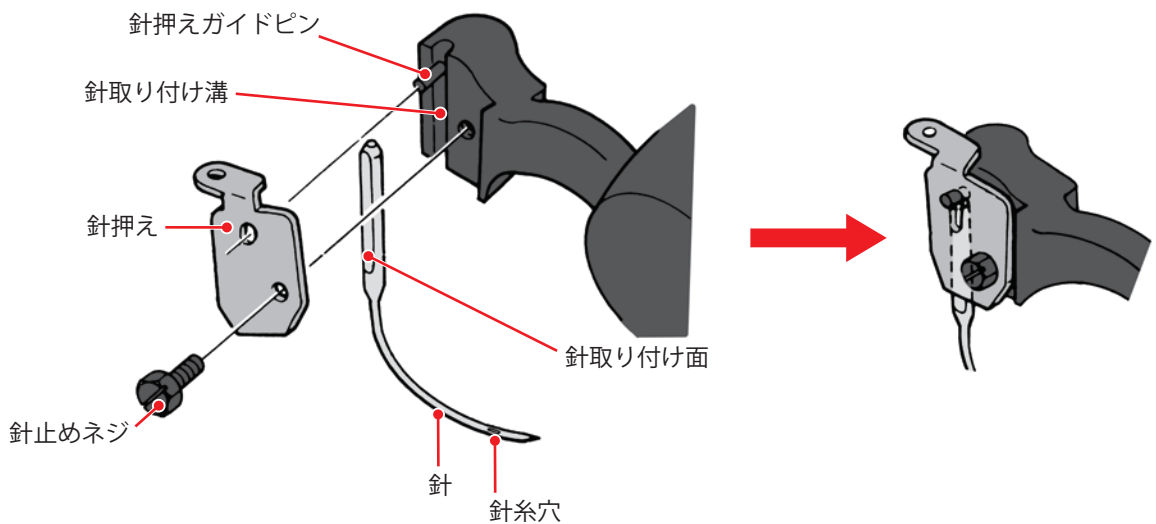
《2》針を取り付け溝に合わせて差し込み、針押えガイドピンに当たるようにいっぱいに入れる。

《3》針先をガイド溝に合わせる。

《4》ドライバーで針止めネジをしめる。



※針の取り付け部はつぎのようになっています。



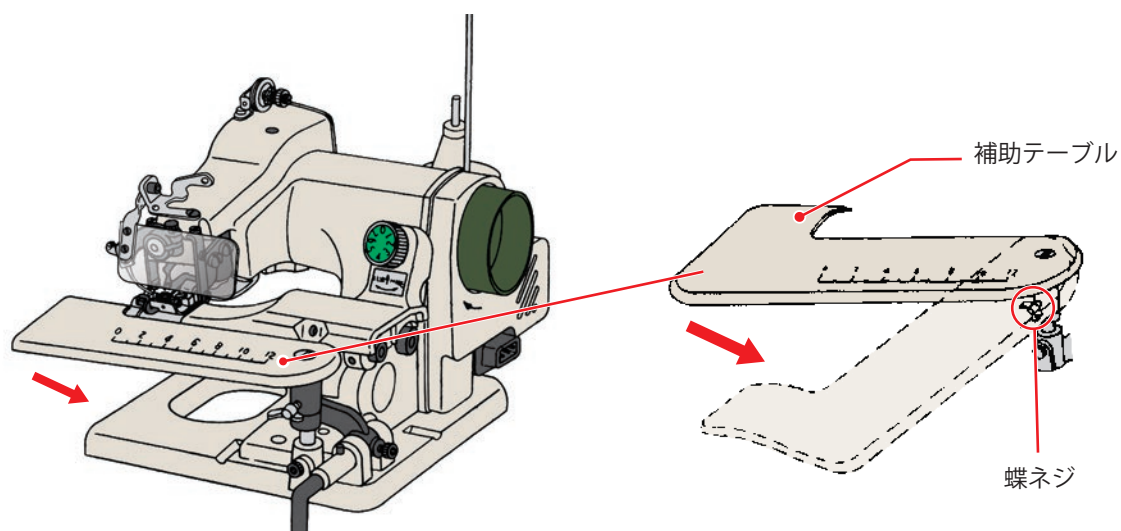
注意



●針の取り外し、取り付けの前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

9 補助テーブルの移動

●針に糸を通すときや、径の小さい筒もの縫いの場合は、補助テーブルを移動してご使用ください。



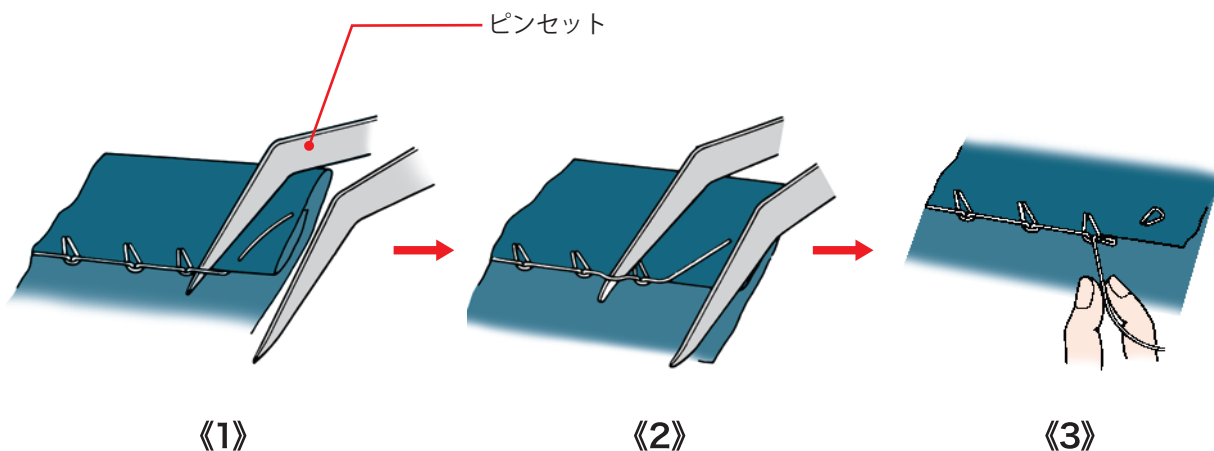
10 糸のほどきかた

●縫いの終わりで糸を一目外して引けば縫い糸はほどけます。

《1》縫い終わりの糸を抜きます。

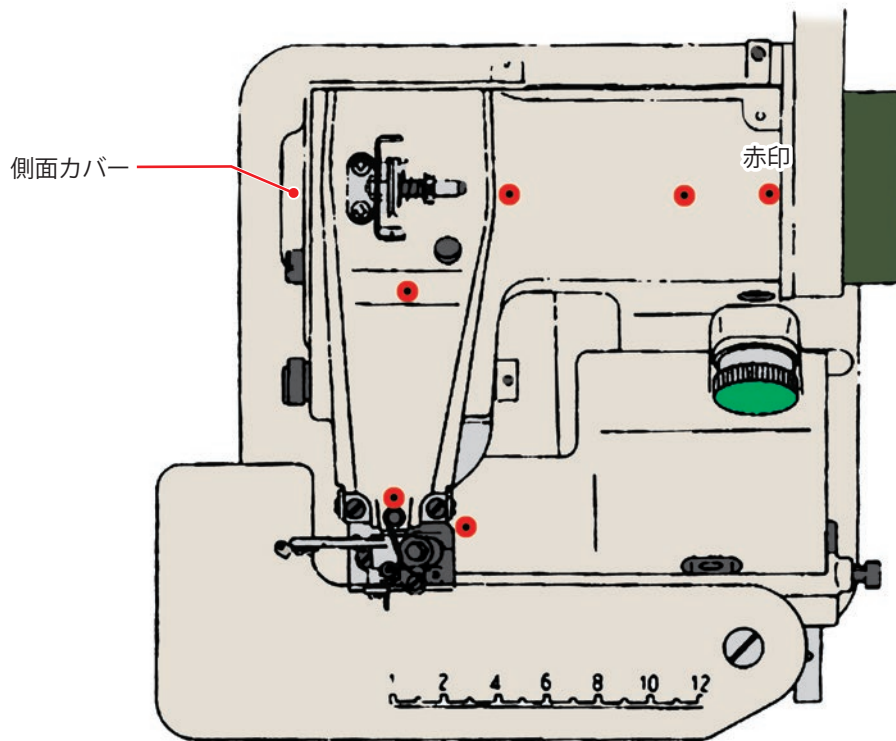
《2》糸のわを抜きます。

《3》糸を引っ張ります。



11 注油のしかた

- 赤印のついている箇所に一ヶ月に一度注油してください。
一回の注油の量は1滴程度にしてください。



12 困ったときは

- ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に以下項目を確認してください。
それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

【1】ミシンが動かないとき

- コンセントがぬけていませんか。(2ページ参照)

【2】縫えないとき

- 糸通しをまちがっていませんか。(3ページ参照)
- 針がいたんでいたり、取り付け方がまちがっていませんか。(7ページ参照)

【3】糸が切れるとき

- 糸通しをまちがっていませんか。(3ページ参照)
- 糸調子が強すぎたり、ゆるすぎたりしていませんか。(4ページ参照)
- 針がいたんでいたり、取り付け方がまちがっていませんか。(7ページ参照)
- 糸の種類はありますか。(スパン糸90番を使用してください。)

【4】目とびするとき

- 針がいたんでいたり、取り付け方がまちがっていませんか。(7ページ参照)
- すくいダイヤルは、布の厚みに合わせてありますか。(5ページ参照)
- 糸通しをまちがっていませんか。(3ページ参照)
- 糸の強さは布と送り目に合っていますか。(4ページ参照)

【5】縫い目の調子が悪いとき

- 糸調子を確認してください。(4ページ参照)
- 糸通しをまちがっていませんか。(3ページ参照)

【6】すくいむらがあるとき

- すくいダイヤルは、布の厚みに合わせてありますか。(5ページ参照)
- 布を正しく送り込んでいますか。
- 布をまつり定規に合わせて送り込んでいますか。(4ページ参照)
- 針がいたんでいたり、取り付け方をまちがっていませんか。(7ページ参照)

梱包明細

- | | |
|-----------------|--------------|
| 【1】ミシン本体(モーター付) | 【9】アクセサリセット |
| 【2】コントローラー | ・針(LW×6T) |
| 【3】膝上げ棒 | ・ピンセット |
| 【4】膝当てセット(ネジ付) | ・ドライバー(大・小) |
| 【5】油差し | ・Lレンチ(大・中・小) |
| 【6】糸立て棒 | ・スパナ |
| 【7】ご使用の手引き | 【10】クランプセット |
| 【8】保証書 | |

仕様

- | | |
|-------|------------|
| ●縫い方式 | 曲針一本針単糸環縫い |
| ●縫い速度 | 1200針/分 |
| ●送り目 | 3~7mm |
| ●まつり幅 | 標準3.5mm |
| ●使用針 | LW×6T |

安全にご使用いただくために

- ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
- このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告 → 感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは、コンセントからプラグを抜いてください。

⚠ 注意 → 感電、火災、ケガの原因となります。

- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。
- ◆お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対して十分に注意を払ってください。
- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・協力のスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・お子様の手の届く場所
 - ・高い場所
- ※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。
- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。
- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・糸をセットするとき
 - ・針を交換するとき
 - ・膝上レバーをセットするとき
 - ・送り目の長さを変えるとき
- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はいしないでください。
- ◆延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はいしないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグを破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を話さないようにし、針・プーリー・ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また針先の曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押したりしないでください。

製品ユーザー登録はこちらから

www.babylock.co.jp/user

ベビーロックをもっと活用していただくための
コンテンツや特典をご提供しています。



最新情報や作品づくりのアイデアは
ホームページとSNSをチェック！



株式会社 **ベビーロック** www.babylock.co.jp

本社：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

支店：東京 03(6261)4151 大阪 06(6967)3300 福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要がある場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお薦めします。